ISO／TC204の現状

福田　稔*

要　旨

ITS(Intelligent Transport Systems：高度道路交通システム)に特化した国際標準化専門委員会ISO／TC204が組織され活動をスタートして６年が経過する。

現在までに50余件が標準化検討項目として審議され，早いものは審議を終えている段階にある。

従来の多くのISO(International Organization for Standardization：国際標準化機構)が製品化後の標準化作業であったのに対し，将来予測も含めたpre–competitive stageでの標準化項目が多く，したがって，de–fact標準に分類されるものは少ない。また，部品や製品等の仕様を扱うものよりもシステム，アーキテクチャ，方法など包括的内容を対象にするものが多いのも特徴である。

ISO／TC204よりも約２年早く欧州標準化委員会CEN／TC278の下でITSの標準化を手掛けた欧州勢は，ISOの場においても優位を保っている。また，EC(欧州委員会)や欧州地域が進めるプロジェクトを標準化の場に多数提案してくる辺りも日本との違いである。

活動体制，検討対象も発足当時よりもかなり改変され，適宜ad–hoc委員会を設けながら社会が要求するITS標準の早期制定に向けて活動している。活動も中盤を過ぎ，その成り行きに一層注目しておくべきであろう。

ISO／TC204の組織(幹事国：アメリカ)

地域別 Pメンバー国数：欧州 9　南北アメリカ 3　アジア 5　オセアニア 1

WG No.	分科会名称	幹事国／主導組織体
WG 1	システム機能構成分科会 System Architecture	イギリス／ISO
WG 2	品質・信頼性分科会(休止)	—
WG 3	TICSデータベース技術分科会TICS Database Technology	日本／ISO
WG 4	車両自動認識／貨物自動認識分科会　AVI and AEI	ノルウェー／CEN
WG 5	料金収受分科会 Fee & Toll Collection／Management and Access Control	オランダ／CEN
WG 6	貨物運行管理分科会(休止)	—
WG 7	車両通行管理分科会 Commercial／Freight	カナダ／ISO
WG 8	公共交通分科会 Public Transport／Emergency	アメリカ／ISO
WG 9	交通管理分科会 Integrated Transport Information , Management	オーストラリア／ISO
WG 10	旅行者情報分科会 Traveller Information Systems	イギリス／CEN
WG 11	ナビ・経路誘導分科会 Route Guidance and Navigation Systems	ドイツ／ISO
WG 14	走行制御分科会 Vehicle／Road Warning and Control Systems	日本／ISO
WG 15	狭域通信分科会 DSRC for TICS Applications	ドイツ／CEN
WG 16	広域通信分科会 Wide Area Communications／Protocol and Interfaces	アメリカ／ISO

出典　㈶自動車走行電子技術協会：ITSの標準(平成10年度通産省高度技術集約型産業等研究開発調査(ITSの規格化事業))

ISO／TC204の組織

ITSに関する国際標準化活動はISO／TC204が担当している。TC204では標準化項目の全体内容を１～16までのWG(分科会)で分担し，各WGには幹事国のコンビーナーと各国派遣のエキスパートが参加する。標準化に先行していた欧州は多くのWGの幹事国となり，かつＰメンバー国(委員会参加資格国)の半数を欧州勢が占めるという優位な条件でISOとCENの両作業を並行して進めている。作業は中盤を過ぎた段階にある。

*鎌倉製作所